

# 諏訪、上伊那の方言分布紹介

## 大西教授(国立国語研)が言語地図解説

八ヶ岳総合博物館

### 茅野

諏訪地方の方言を紹介するミニ展示「まだまだあつた」総合博物館は24日、関連イベントとして「ミニトークことばの地図」を開催中の茅野市八ヶ岳総合博物館は24日、関連イベントとして「ミニトークことばの地図」を同館で展開した。同展で紹介される「長野県伊那諏訪地方言語地図」を著した国立国語研究所の大西拓一郎教授(62)＝同市玉川＝を講師に迎え、ことばの地図(言語地図)を読み解いた。



八ヶ岳総合博物館で開いた「ミニトークことばの地図」

イベントには市内外から計約30人が参加。大西教授は冒頭、方言を「場所によることばの違い」、言語地図を「ことばの場所による違いを地図で表したものだ」と説明。地図を参照しながら「トーモロコシ」や「どんと焼き」など諏訪、上伊那両地方における方言の分布を紹介した。

同市米沢から参加した野澤千穂子さん(83)は2015年ごろ「信州茅野の方言カルタを作る会」に所属し、方言の収集に奔走していたという。「方言とされる表現は死語になっているものも多く、さびしさを感じている。もっと大事にしてみたら」などと話していた。